

第2回厚生科学審議会感染症分科会感染症部会
麻しんに関する小委員会

平成24年6月20日(水)

福井県の麻しん対策



福井県健康福祉部健康増進課長
中田 勝己



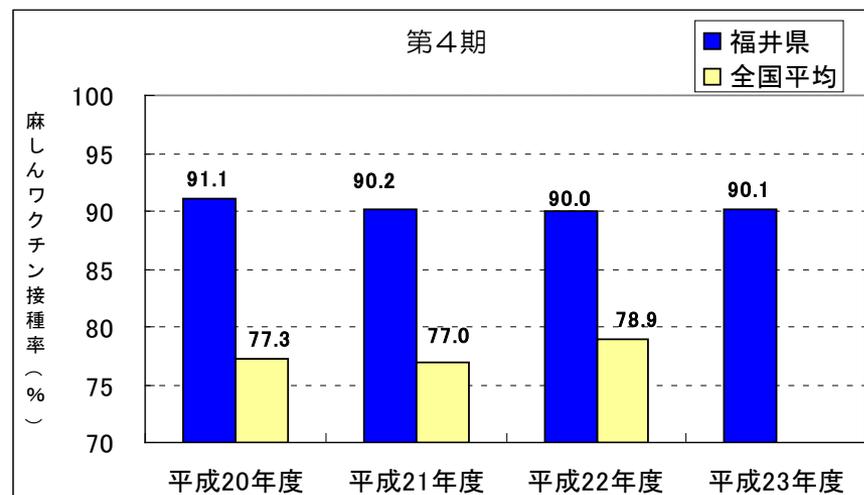
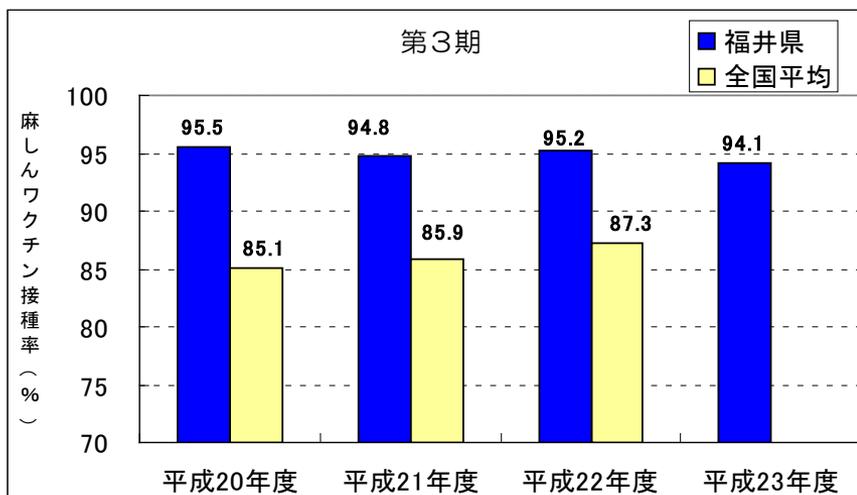
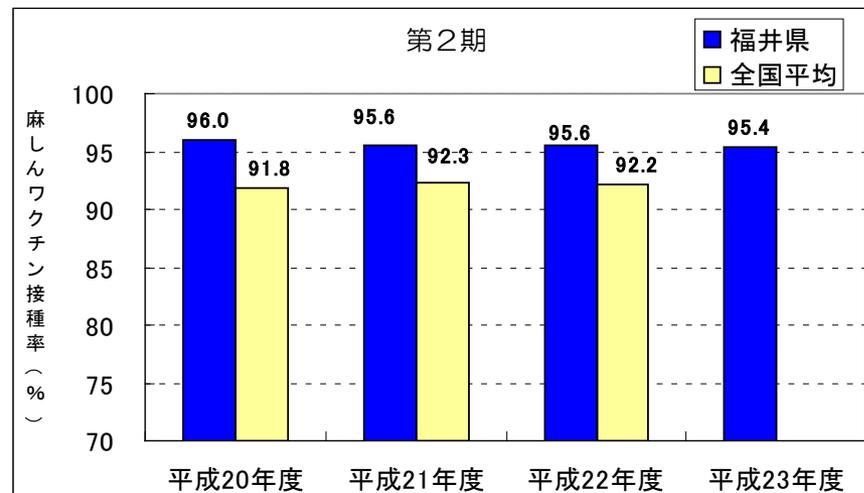
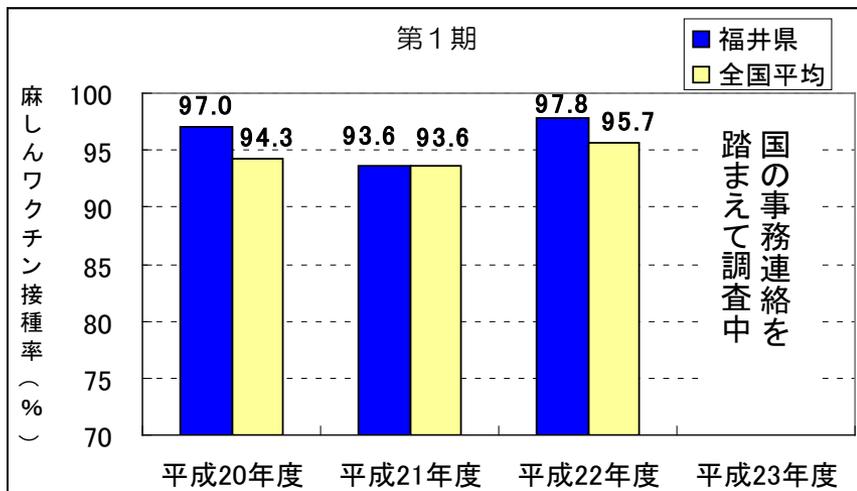
1. 麻疹ワクチン接種状況

2. 麻疹発生動向

3. 麻疹排除に向けた対策

4. 麻疹排除に向けた対策の効果

麻しんワクチン接種状況



福井県は、全期において高い予防接種率

麻疹予防接種率向上の取組み



①医療機関、医師会

受診者や保護者に対する予防接種の啓発

②教育機関

「学校における麻疹対策ガイドライン」に基づいた接種者の把握と勧奨
就学時健診での接種状況確認と接種勧奨

③市町

予防接種台帳システムの整備

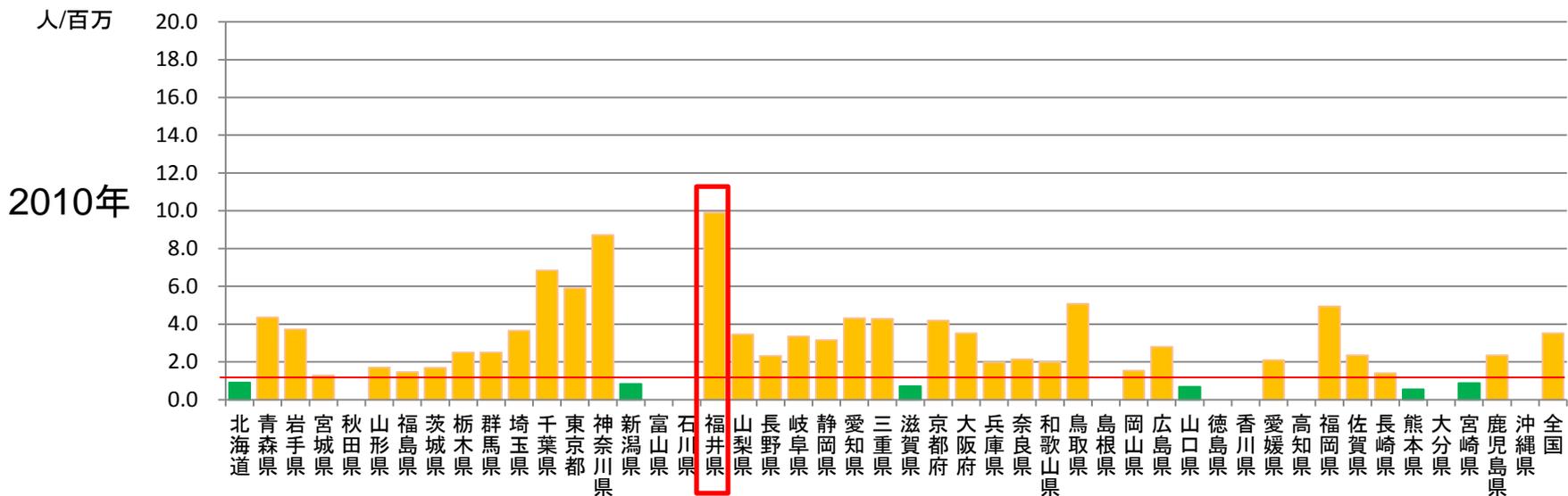
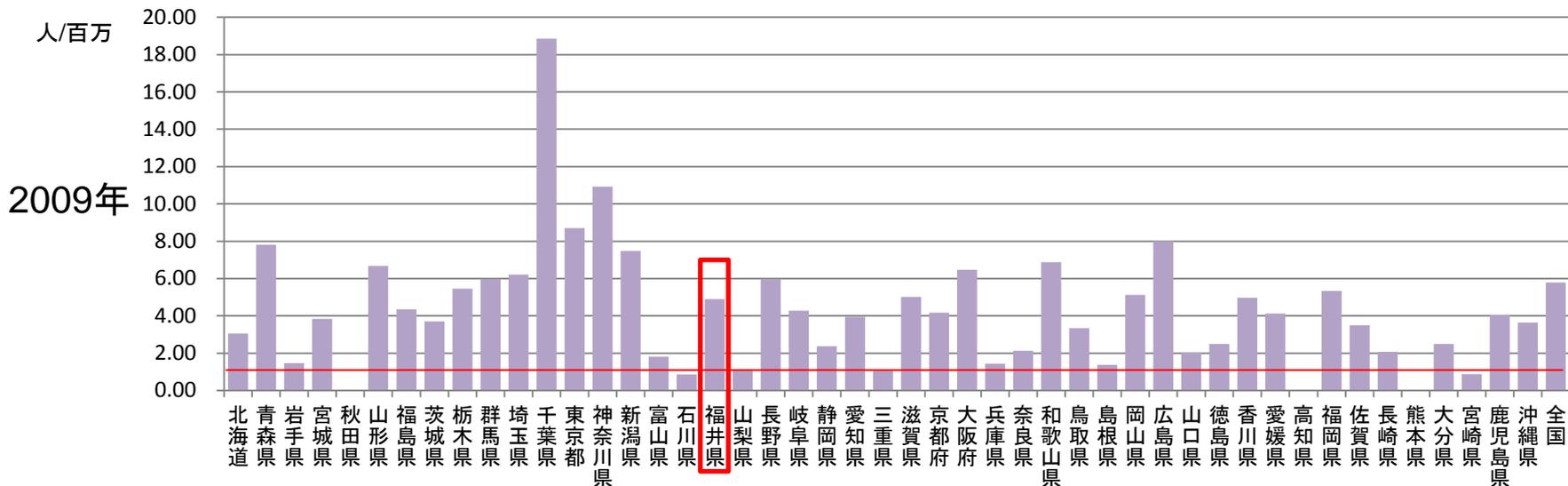
対象者への複数回の個別通知、健診時の個別勧奨、電話等による個別勧奨
各種広報

④県

定期的な接種率調査、広報（下表）

内容	時期（回数）	
接種勧奨ちらし配布	4月 (1回)	全中学校1年生、全高校3年生
	2月 (1回)	未接種の全中学校1年生
接種率調査	6, 8, 9, 12, 2月 (6回)	市町、中学校、高校
接種勧奨通知	7, 8, 11, 12, 1, 2, 3月 (8回)	市町、医師会、公的医療機関、中学校、高校、その他関係機関
新聞による接種広報	4, 7, 1, 3月 (4回)	福井新聞、日刊県民福井
ポスターの配布	4月 (1回)	市町、公的施設、医療機関

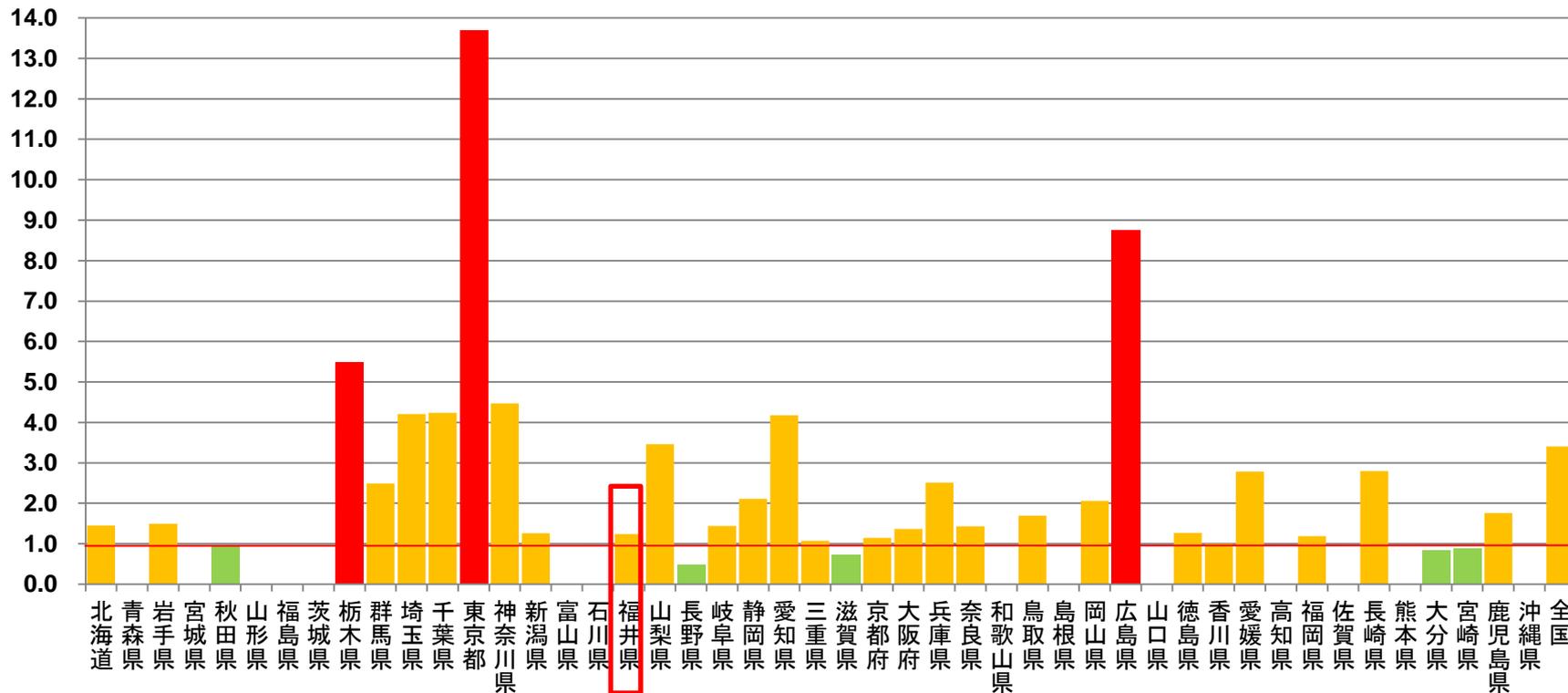
人口百万対麻しん報告数



人口百万対麻しん報告数



人/百万
2011年



感染症発生動向調査 2012 年 2 月 9 日現在

福井県は、予防接種率が高いにもかかわらず、麻しんの届出が多い

麻疹排除に向けた対策



麻疹未発生時(平常時)

麻疹ワクチンの正確な接種状況把握と未接種者への個別勧奨等

麻疹疑い発生時

- 1 麻疹抗体検査の徹底（PCR検体の確保の徹底）
- 2 麻疹疑い患者を診断した医師から、麻疹アドバイザーへ相談（福井県小児科医会協力）

麻疹届出後

- 1 積極的疫学調査（接触者調査、行動調査等）、まん延防止対策
- 2 関係機関への情報提供
- 3 全例、PCR検査の実施（咽頭ぬぐい液、血液、尿）
- 4 必要に応じて、
 - 麻疹対策会議から届出をした医師への麻疹診断に関する技術的助言
 - 麻疹対策会議から県に対してまん延防止対策の技術的助言

麻しんアドバイザー



麻しんアドバイザー体制整備の経緯

- 福井県小児科医会が設置
- 福井県麻しん対策会議(福井県感染症予防対策委員会)と連携の下、平成24年度から運用を開始

麻しんアドバイザーの構成等

- 健康福祉センター管区ごとに2名ずつ、計12名を配置
- 原則として担当する管区内の医師および県健康福祉センター職員からの麻しんに関する技術的な相談等に対応

麻しんアドバイザーの役割

【届出前】

- 麻しん疑い患者を診察する医師の求めに応じて、麻しんの特徴的な臨床症状や必要とする検査等について助言

【届出後】

- 届出した医師に対して確認すべき医学的事項等について助言
- 福井県麻しん対策会議と連携の上、県に対して麻しんのまん延防止対策等について技術的な助言

麻疹アドバイザーによる相談体制の整備



健 第 3 5 0 号
平成 2 4 年 4 月 4 日

福井県医師会長 様
郡・市医師会長 様
福井県内科医会長 様
福井県小児科医会長 様

福井県健康福祉部健康増進課長

麻疹診断に関する相談体制等の整備について

日ごろから、本県の感染症、予防接種対策につきましては多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、麻疹については、「麻疹に関する特定感染症予防指針」において、平成 2 4 年度までに麻疹排除の状態を維持することを目標とし、国を中心に各種取り組みを行っているところです。

一方、予防接種の進展とともに典型的な症状を示さない「修飾麻疹」の増加や抗体価に対する他のウイルス性疾患の影響など、麻疹の診断が難しくなっている現状にあります。

このような背景を踏まえ、平成 2 4 年 3 月 2 7 日開催の「福井県感染症予防対策委員会（麻疹対策会議）」で協議いただいた結果、下記のとおり麻疹診断に関する相談体制等を整備しましたので、積極的な活用等について貴会員の皆様に周知いただくようお願いします。

なお、本通知につきましては、ホームページ「医療情報ネットふくい」に掲載予定であることを申し添えます。

記

1 麻疹診断に関するアドバイザーの設置について

- 福井県小児科医会が各地区に設置（別紙 1 参照）
- 麻疹を疑う症例の診断あたり、積極的に御相談ください。

2 麻疹診断時の検体の確保について

- 麻疹の抗体価は、他のウイルス性疾患（伝染性紅斑、突発性発疹、デング熱など）でも陽性になる場合があります。

〔参考〕国立感染症研究所HP

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/pdf01/arugorizumu.pdf>

- 麻疹と診断した場合は、必ず遺伝子検査（PCR検査）用の検体（咽頭ぬぐい液、血液、尿）を早期に確保（別紙 2 参照）いただくよう改めて周知徹底をお願いします。なお、咽頭ぬぐい液用の培地については、各健康福祉センターに用意してありますので、必要に応じ、最寄りの健康福祉センターに御連絡ください。

〔検体採取法〕

咽頭ぬぐい液	培地を健康福祉センターに用意してあります。培地が手に入らない場合は、滅菌生理食塩水 3m l を滅菌チューブに入れ代用することも可能です。
血液	抗凝固剤（EDTA、クエン酸）入りの採血管に 2m l 程度採取する。採血管は医療機関で使用しているものを利用願います。
尿	滅菌スピッツに 10m l 程度採取する。スピッツは医療機関で使用しているものを利用願います。

3 麻疹発生届出の徹底

- 麻疹と診断した場合は、2 4 時間以内に健康福祉センターに届出いただくよう改めて周知徹底をお願いします。
- 麻疹発生届のあった全例を対象に、平成 2 3 年 4 月から遺伝子検査（PCR 検査）を実施しています。（別紙 2 参照）

麻疹アドバイザーによる相談体制の整備



別紙 1

平成24年3月12日

福井県感染症予防対策委員会 委員長 様
(福井県麻疹対策会議)

福井県小児科医会 会長

麻疹診断に関するアドバイザーの設置について

前略

日頃は感染症、予防接種対策などに関しまして大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。
さて、当会では、麻疹の予防接種率の向上など、福井県における麻疹排除を積極的に推進しているところで。

麻疹は、特徴的な臨床症状と麻疹 I g M抗体検査の結果等により診断されますが、他の発疹性ウイルス疾患との判別が困難であるばかりでなく、近年は麻疹の発生が少なくなり、それに伴い麻疹の診断の経験のある医師も限られてきております。このため、当会では、別紙のとおり健康福祉センター管区ごとにアドバイザーを設置し、麻疹を疑う症例を診断する際の相談体制を整備しているところで。

つきましては、貴委員会におかれましても、アドバイザーを積極的にご活用いただき、麻疹の正確なサーベイランスの一助としていただければ幸甚に存じます。

なにとぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

健康福祉センター管区ごとの麻疹アドバイザー
(福井県小児科医会・会員)

- <福井> 福井県立大学看護福祉学部教授 齋藤 正一
TEL : 0776-61-6000 (ext.4455) FAX : 0776-61-6016
清水小児科医院 清水 絃昭
TEL : 0776-21-5670 FAX : 0776-25-9175
- <坂井> 国立病院機構あわら病院小児科 川満 徹
TEL : 0776-79-1211 FAX : 0776-79-1249
つちだ小児科 土田 晋也
TEL : 0776-67-8306 FAX : 0776-67-8380
- <奥越> 福井社会保険病院小児科 玉村 宗一
TEL : 0779-88-0350 FAX : 0779-88-3739
河北小児科医院 河北 美紀子
TEL : 0779-88-1234 FAX : 0779-88-1755
- <丹南> 公立丹南病院小児科 布施田 哲也
TEL : 0778-51-2260 FAX : 0778-52-8620
はしもと小児科クリニック 橋本 剛太郎
TEL : 0778-23-8080 FAX : 0778-23-8085
- <二州> 市立敦賀病院小児科 安藤 徹
TEL : 0770-22-3611 FAX : 0770-22-6702
みやがわ小児科クリニック 宮川 和彦
TEL : 0770-20-1700 FAX : 0770-20-1701
- <若狭> 公立小浜病院小児科 原 慶和
TEL : 0770-52-0990 FAX : 0770-53-3745
いちせクリニック 一瀬 亨
TEL : 0770-53-2415 FAX : 0770-53-2515

PCR検体確保の徹底を通知



健 第 1 1 4 号

平成 2 4 年 2 月 2 日

福 井 県 医 師 会 長 様
郡 ・ 市 医 師 会 長 様
福 井 県 小 児 科 医 会 長 様

福 井 県 健 康 福 祉 部 健 康 増 進 課 長

麻しん発生届出事例に対する遺伝子検査の検体確保の徹底について

日ごろから、本県の感染症、予防接種対策につきましては多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の麻しん対策については、「麻しんに関する特定感染症予防指針」に基づき、平成20年度からの5年間を麻しんの排除のための対策期間とし、平成24年度までに麻しんの排除を達成することを目標としているところです。

本県では、医療機関等関係の皆様のご協力の下、麻しんの予防接種を積極的に推進し、昨年度においては第1期から第3期において接種率が95%を超えて全国トップクラスとなっております。

一方、麻しんが疑われる患者の診断に関しては、麻しんIgM抗体検査が他の発疹性ウイルス疾患でも陽性になることが指摘されています。そこで、類似の症状の疾病から麻しんを正確に見分けるために、別添「福井県麻しん遺伝子検査実施要領」により、今年度から麻しん発生届出事例全例に対して遺伝子検査(RT-PCR法)を実施しているところです。

つきましては、麻しんが疑われる患者について、**発症早期における検体(咽頭ぬぐい液、血液および尿)の確保を徹底**していただくよう、あらためて貴会会員あて周知くださいますようお願いいたします。

なお、本通知につきましては、ホームページ「医療情報ネットふくい」に掲載予定であることを申し添えます。

PCR検査までのフロー



医療機関において麻しんを疑った場合

- ◆届出に必要な臨床症状
- 1 麻しんに特徴的な発疹
- 2 発熱
- 3 咳嗽、鼻汁、結膜充血等のカタル症状

届出に必要な臨床症状が1つ以上ある

抗体検査

陰性

陽性

発生届

修飾麻しん

麻しん
(臨床診断)

麻しん
(検査診断)

PCR法による病原体の遺伝子検出検査の実施

PCR検体(咽頭ぬぐい液、血液、尿)の確保

原則として、抗体検査実施をお願いしている。

届出に必要な臨床症状を全て満たす

抗体検査

陽性

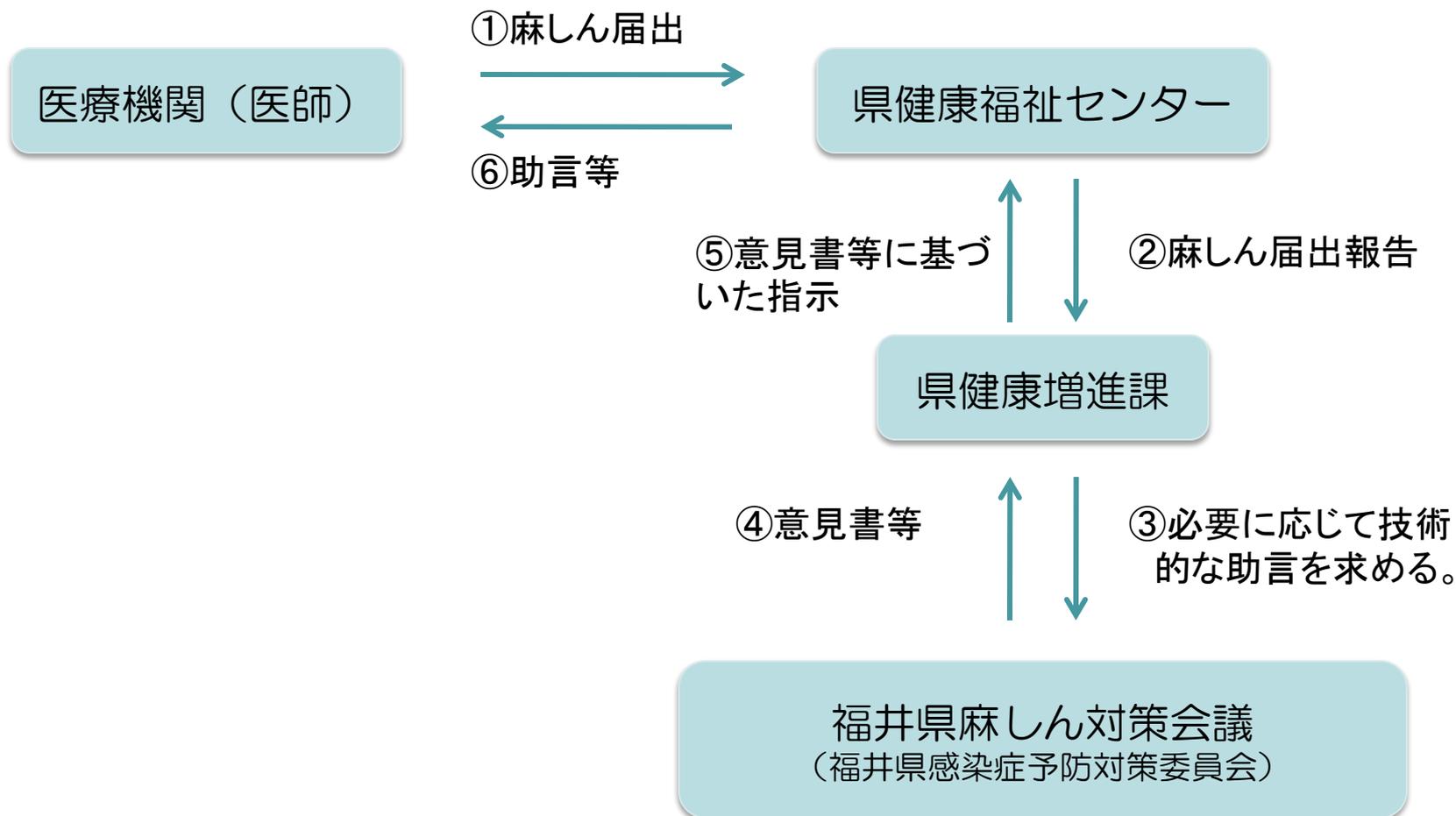
陰性

- ◆検査結果を医療機関に連絡
- ◆検査結果に応じて届出の取下げ、修正を検討

※ 県が行う検査は、麻しん発生届出があった症例が対象であり、鑑別診断や除外診断のための検査は行わない。

※ 検査の実施状況等について麻しん対策会議に報告し、必要な検討を行う。

麻しん対策会議による技術的助言

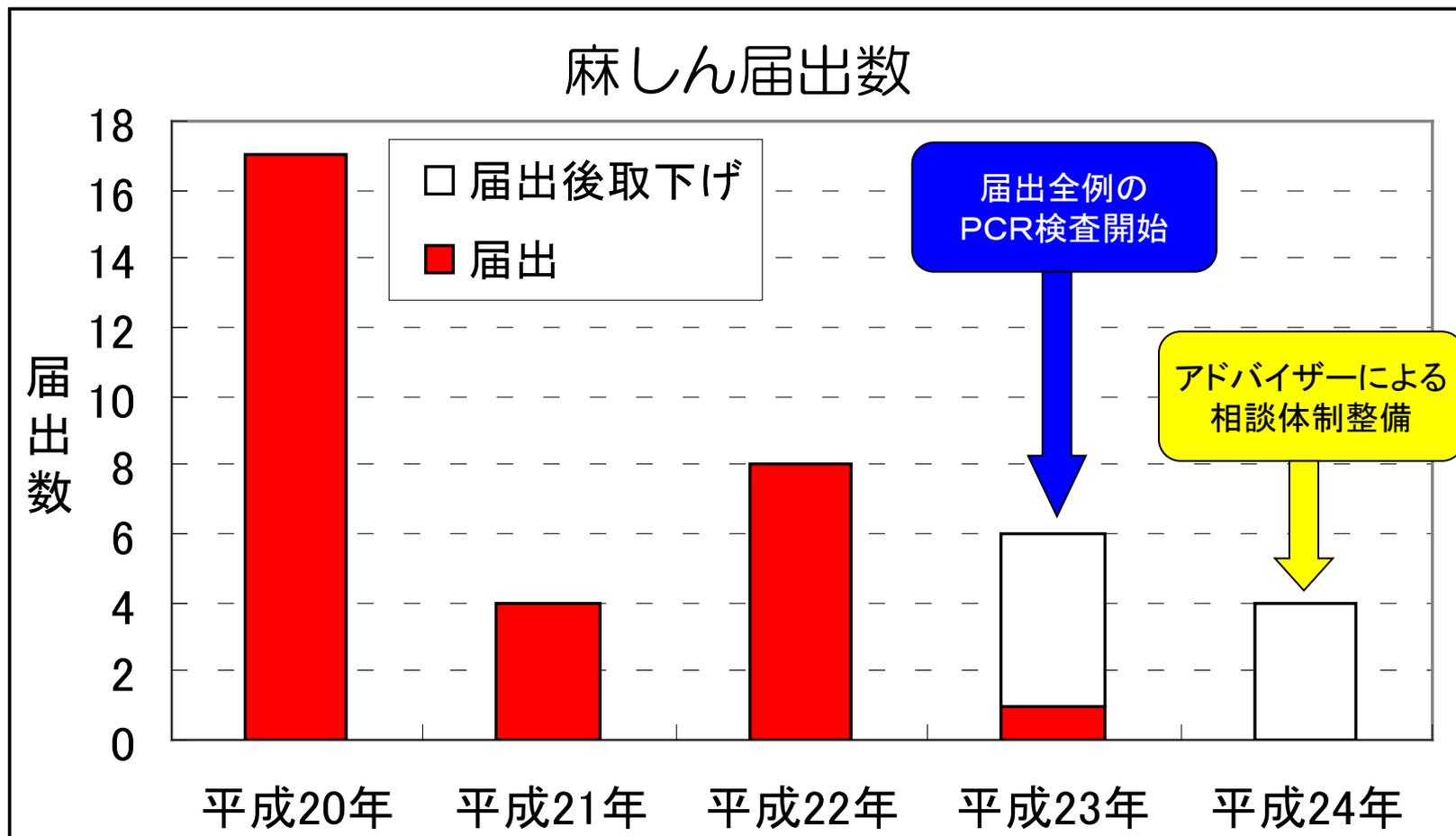


麻疹排除に向けた対策後の届出状況



届出年	患者		病型	症状							罹患歴	ワクチン接種歴(回)	I g M抗体価	PCR			
	年齢	性別		発熱	咳	鼻汁	結膜充血	眼脂	コプリック斑	発疹				咽頭ぬぐい液	血液	尿	
H23	50代	男	臨床診断	○	○	○	○			○	有	無	実施なし	(-)	(-)	(-)	届出取下げ
	10歳未満	女	臨床診断	○	○	○	○	○		○	無	無	<0.8	(-)	(-)		届出取下げ
	30代	女	修飾麻疹	○						○	無	1	2.14	実施なし			届出受理
	10代	男	臨床診断	○	○		○			○	無	2	0.37	(-)	(-)	(-)	届出取下げ
	30代	女	修飾麻疹	○						○	不明	不明	7.02	(-)	(-)	(-)	届出取下げ
	30代	女	修飾麻疹							○	不明	不明	2.21	(-)	(-)	(-)	届出取下げ
H24	30代	男	検査診断	○	○	○	○			○	無	1	1.46	(-)	(-)	(-)	届出取下げ
	10代	男	臨床診断	○	○				○	○	無	2	実施なし	(-)	(-)	(-)	届出取下げ
	30代	男	臨床診断	○			○	○		○	無	1	(-)	(-)	(-)	(-)	届出取下げ(風しん) アドバイザーに相談
	50代	女	臨床診断	○	○	○	○			○	不明	不明	(-)	(-)	(-)	(-)	届出取下げ(風しん)

麻しん排除に向けた対策後の届出状況



麻疹排除に向けた対策の効果



①高い予防接種率

関係機関が一体となって、接種対象者への勧奨を実施

→毎年、全期において高い予防接種率を維持

②麻疹の診断サポート

麻疹診断のサポート体制を整備(福井県小児科医会協力)

→麻疹アドバイザーの助言により、麻疹と類似症例のより正確な鑑別が可能

②PCR検査による検査診断

届出全例に対するPCR検査体制の整備

→麻疹のより正確な把握が可能となり、類似疾患による届出数が減少

今後、これらの対策に加え、必要に応じて麻疹対策会議の技術的助言を求め、早期に「はしかゼロ」を達成することを目標